



体外衝撃波結石破砕術(ESWL)パス 入院診療計画書

URY106

患者ID	主治医	病名	説明日
患者氏名	(性別) 担当医	管理栄養士	症状 <input type="checkbox"/> 事前検査による異常所見
生年月日:	(年齢) 看護師	特別な栄養管理の必要性	<input type="checkbox"/> 患部の自覚症状
病棟(病室)	薬剤師	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	(疼痛・血尿・頻尿・排尿困難・残尿感)

月日	入院日	治療前
患者目標	不安なく治療を受けることができる	
治療処置 注射 (内服)	現在使用している薬をすべて確認します(現在中止している薬も含む) 入院中に使用する薬について説明します アレルギーの有無等を確認します 	点滴を開始します 治療開始30分前に痛み止めの坐薬を使用します
検査	必要に応じて行います	
食事	食事を摂取することはできません	
排泄	制限はありません	破砕室へ向かう前に排尿を済ませてください
清潔	入浴はできません	
活動 (安静度)	制限はありません	破砕室へは歩いて移動します(状態によっては車椅子で移動します)
説明 (指導)	入院生活や治療について説明します 義歯・補聴器があるかを確認します ネームバンドを装着します 	治療開始予定時刻は 時 分です 装身具(眼鏡・時計・義歯・指輪等)を外します 治療中は開始から終了まで同一体位で行います(中断はできません) 治療は約1時間かかります(体位を整えますが、苦痛な場合は開始前にお伝えください、再度調整します) 治療中は体を動かさず、深呼吸はしないでください (衝撃波のズレを少なくするため)
その他		

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

上記のとおり説明を受けました 年 月 日

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

説明を受けた人: 続柄

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

(本人・家族) ()

体外衝撃波結石破砕術(ESWL)パス 入院診療計画書

患者氏名

(性別)

患者ID

月日	治療後	退院日
	/	/
患者目標	治療後合併症を起こさない	
治療 処置 注射 (内服)	治療後は適宜、体温、血圧などを測定し、症状を伺います	午前中にレントゲン撮影をします(結果で退院が決定となります) 退院時に処方がある場合は、薬剤師からお渡しします (不在の場合には看護師からお渡しする場合があります)
検査	必要に応じて行います	ネームバンドを外します 体温計を回収します
食事	帰室後から水分(水・お茶のみ)を摂取することができます 夕食から食事が開始となります	
排泄	トイレで排泄できます(カップをお渡しします) 治療後1回目の排尿は、血尿の程度を確認しますので、カップにとり看護師へお知らせください 2回目以降は、一旦カップ内に排尿し石が出た場合は、看護師へお知らせください	退院後の過ごし方、次回外来について説明をします 次回の外来予約票と診察券をお渡しします
清潔	治療後も入浴およびシャワー浴はできません	会計担当者が、お部屋へ伺います(開院日) 会計の説明を聞いてからの退院となります (状況によっては、多少お待ち頂く場合がございます)
活動 (安静度)	治療後は疼痛増強、血尿予防のためベッド上で安静にお過ごしください (トイレ歩行は可能です)	
説明 (指導)	治療後数日間は、排尿時に血尿が出ることがありますが徐々に落ち着いてきます(状態に応じて必要な対応をします) 疼痛や血尿が増強する場合は看護師までお知らせください 速やかな排石を促すため本日中に1~1.5L程度の水分を摂取してください	
その他		



※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます。

※上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。